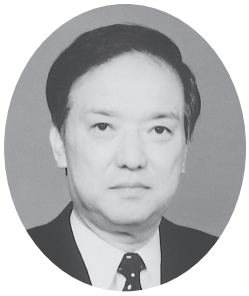
会員報

第17号 平成20年2月1日発行

財団法人 日本ソフトテニス連盟

新春を迎えて



財団法人　日本ソフトテニス連盟
会長　海部　俊樹

あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族ともども希望に輝く新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

ソフトテニス長期基本計画2007のスタートの年であった昨年は、韓国の安城市で開催された世界選手権大会において、男子団体で見事金メダルを獲得しソフトテニス愛好者に大きな夢を与え、世界No1の実力維持に向って関係者に自信と意欲を高めました。選手団ならびに大会開催にご尽力いただいた方々に、心から御礼申し上げます。

当連盟の重点課題であり、平成18年から実施した競技者育成プログラム（一貫指導システム）も、前年の反省を基に改善し、ようやく指導体制も整いブロックのStep-3、宮崎でのStep-4共、参加者及び関係者から高く評価されるようになりました。新しい事業、全国展開での事業ですから、3年から5年をかけてみなさんの創意と工夫で、より良いソフトテニスの一貫指導システムが構築出来たらと考えています。

また、もう一つの重点課題である国際振興も、韓国での世界選手権大会にヨーロッパ13カ国を含め40カ国（地域）の参加が得られたことは快挙であり、これを良い機会と捉え日本で生まれたソフトテニスをさらに世界に知らしめたいと思います。

これらの施策を支える当連盟の基幹的制度である会員登録制度も、皆様のご協力のおかげで定着し、IT化の活用などにより小、中学生の有料化後も徐々に会員登録は増加しています。

この会員登録制度の促進を図る上で会員の皆様から求められていることは、登録料を納付するためのシステム化です。少しでも関係者のご負担を軽減、そして現金授受のトラブルを解消するため、昨年より会員登録料納付システムの構築を目指し、早期に活用出来るよう準備、努力しています。

一方、重要な広報媒体であるテレビ放映については、念願でありましたNHKによる全日本選手権大会の放映が継続して実現されていますが、ガオラについては平成18年度で多額の費用がかかりすぎることから中止しました。

現在、ホームページを活用したソフトテニスTVを開局し、日本連盟だけでなく各都道府県連盟等でも同様に広報活動としてのTV局による映像活用が出来るようになりました。地方での情報提供の場、小学生からシニアまでの各層の幅広いソフトテニス活動を報じていただき、ソフトテニスの普及振興に役立てていただければと期待しています。

皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げ、韓国でのアジア選手権大会での必勝を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

競技者育成プログラムで世界に翔く選手の育成を

（財）日本ソフトテニス連盟では、「国際レベルの競技能力の開発を目指して、競技者の発掘・育成・強化の全体を通じた共通の理念と指導カリキュラムに基づいてそれぞれの時期に最適な指導を一貫して行う。また、ソフトテニス競技をより魅力のあるスポーツに育て、競技を通じて青少年の育成に寄与していくこと」を目的に策定した強化システム「ソフトテニス競技者育成プログラム」を全国的に推進しています。

Step3選考だけでなく強化指導

このシステムは、U-14、U-18、U-21の各年齢層別のカテゴリーに分け、市町村(Step-1)、都道府県(Step-2)、ブロック(Step-3)、全国(Step-4)の各々の段階で実施する強化練習および選考会により優れた素質を有する競技者の発掘及び育成強化を図り、全日本U(Step-5)を選出しています。

Step4練習風景

当連盟では、平成19年度から平成23年度を計画期間とする「ソフトテニス長期基本計画2007」において、「競技者育成プログラムの推進」をリーディングプロジェクトとして、継続的に取り組むことが決定しております。

昨年、初めて実施したStep-3、4では、どの会場も開催地連盟や多くの指導者の方々のご協力により、大変充実した強化合宿兼選考会を実施することができました。

Step4斉藤全日本監督による技術指導

さらに、今年度は昨年の反省を踏まえてブロック毎に工夫いただき、より効果のある充実した強化練習会兼選考会を開催することができました。

各Stepで選考された選手が、Step-5に選考され、ナショナルチームを含む全カテゴリーの合同合宿の実施等新たな強化事業に取組むことができ、社会人を含む全日本大会でも彼ら（ジュニア選手）が上位に進出するなど、確実に成果が現れてきております。

Step-4ホテルでの講義

また、このプログラムの充実により、文部科学省、JOC、(財)日本体育協会等の上部団体や他競技団体からも注目を集め、日本体育協会主催の全国指導者連絡協議会で各競技団体を代表してソフトテニスが講師の依頼を受け事例発表の実施や、日本スポーツ振興センターの会報誌にソフトテニスの競技者育成プログラムの記事が掲載される等スポーツ界の中でソフトテニス競技が注目され地位向上が図られています。

3年目を迎える平成20年度は、韓国で開催されるソフトテニスアジア選手権大会で世界№1の実力維持を目指して取り組んで参りたいと考えております。

会員の皆様には、さらなるご理解ご協力をいただき、充実したより効果のあるプログラムの継続実施に、ご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。

競技者育成プログラム
推進委員会委員長　笠井　達夫

2008ナショナルチームメンバー

		＜男　子＞		＜女　子＞
監　督	斉藤　広宣	松戸市役所	裕二	NTT西日本広島
コーチ	上松　明裕	岡山市役所	明彦	九十九里高等学校
トレーナー	川上　晃司	スポーツインテリジェンス	高川　亜紀	日域整形外科クリニック
選　手	菅野　創世	川口市役所	杉本　瞳	東芝姫路
	佐々木洋介	ヨネックスクラブ	佐藤　那帆	サンライフ
	堀　晃大	NTT西日本広島	逢野　祐子	NTTドコモ四国
	岩﨑　圭	NTT西日本広島	上原　絵里	ナガセケンコー
	篠原　秀典	日体桜友会	平田　清乃	ナガセケンコー
	小林　幸司	日体桜友会	中川　静香	ナガセケンコー
	玉川　裕司	中京大学	堀越　敦子	NTT西日本広島
	横江　忠彦	中京大学	高橋由梨香	東京女子体育大学
	鹿島　鉄平	早稲田大学	安藤　友里	東京女子体育大学
	中堀　成生	NTT西日本広島	澤邊　好美	日本体育大学
	高川　経生	NTT西日本広島	柴崎　由佳	東芝姫路
	森　博朗	なかよしクラブ	佐々木　舞	NTT西日本広島
	松口　友也	厚木市役所	大庭　彩加	NTT西日本広島
	鬼頭　貴之	早稲田大学	田中ちひろ	日本体育大学
	塩嵜　弘騎	早稲田大学	山下ひかる	東京女子体育大学
	森田　祐哉	東北福祉大学	阿部　悠梨	ナガセケンコー
	井口　雄一	日本体育大学	森原　可奈	広島女子商学園高等学校
	柴田　章平	岡山理科大学附属高等学校	深澤　昭恵	広島女子商学園高等学校

2008全日本U-21メンバー

		＜男　子＞		＜女　子＞
監　督	篠邉　保	東邦ガス	井口　鉄郎	スマッシュ イグチ
コーチ	安達　和紀	城山クラブ	中本　和穂	音戸高等学校
選　手	太田　重広	岡山理科大学附属高等学校	石原　雅子	広島女子商学園高等学校
	花田　周弥	同志社大学	山本　彩加	広島女子商学園高等学校
	緒方　寛和	関西学院大学	水松　彩華	就実高等学校
	長江　光一	早稲田大学	水間奈津紀	NTT西日本広島
	佐藤　喜大	関西大学	小野　有紀	日本体育大学
	世利　卓史	同志社大学	工藤　育美	日本体育大学
	日野　智章	日本体育大学	渡邊　晶子	ヨネックス
	中尾　寛之	中央大学	菊川　由衣	神戸松蔭女子学院大学
	稲積京之介	日本体育大学	東田　結奈	東京女子体育大学
	坂東　浩司	明治大学	沼口　菜生	青山学院大学
	村上　雄人	愛知学院大学	七星　杏奈	関西学院大学
	仙福　剛悠	関西学院大学	中野　優	東京女子体育大学
	石川　裕基	中央大学	中熊　芳子	日本体育大学
	越智　大輔	同志社大学	深谷　美佳	NTTドコモ四国
	岩﨑　拓斗	明治大学	垰田　光理	NTT西日本広島
	黒羽　祥平	早稲田大学	中村　朱里	ヨネックス

2008全日本U-18メンバー

		＜男　子＞		＜女　子＞
監　督	小野寺　剛	巣鴨学園	林　三千夫	和歌山信愛女子短期大学附属高等学校
コーチ	塩田　孝一	尽誠学園高等学校	小峯　秋二	高岡西高等学校
選　手	原　幹生	藤田中学校	奥村すずな	鶴城中学校
	能口　拓磨	藤田中学校	須藤　霞	鶴城中学校
	眞野　泰志	岡山理科大学附属高等学校	榎本　有花	和歌山信愛女子短期大学附属高等学校
	善野　功太	岡山理科大学附属高等学校	伊東　紗季	札幌龍谷学園高校
	桂　拓也	高田商業高等学校	宮下　愛未	高崎健康福祉大学高崎高等学校
	泉山　翔太	八戸工業大学第一高等学校	古宮　茉衣	高崎健康福祉大学高崎高等学校
	村田　直樹	大牟田高等学校	五十嵐由紀	巻高等学校
	中本　圭哉	音戸高等学校	安川真璃子	和歌山信愛女子短期大学附属高等学校
	荒武　光	都城商業高等学校	弓野　加佳	就実高等学校
	菅原　徹	八戸工業大学第一高等学校	塩島　有紗	尽誠学園高等学校
	木元　佑輔	小松市立高等学校	前田　優	高岡西高等学校
	寺下　将司	小松市立高等学校	宮下　愛美	三重高等学校
	林田　和樹	高田商業高等学校	石田　菜摘	和歌山信愛女子短期大学附属高等学校
	荻野　光彦	東北高等学校	田中　優美	常盤木学園高等学校
	増田　健人	三重高等学校	熊井　瞳	中村学園女子高等学校
	石川　直紀	三重高等学校	横山　花純	三重高等学校
	内山　睦基	高田商業高等学校	宮下　茉実	加木屋中学校
	巽　慎也	高田商業高等学校	由田　優希	上郡中学校
	小栗　元貴	多治見中学校	三木　茉苗	就実中学校
	小池　範之	多治見中学校	大槻　麗	西郷第一中学校

2008全日本U-14メンバー

		＜男　子＞		＜女　子＞
監　督	岡村　勝幸	玉幡中学校	野口　英一	文化女子大学附属杉並中学・高等学校
コーチ	古賀　一人	嬉野中学校	青田　博道	日南中学校
選　手	笠井　一磨	和歌山L.C.C	花　泉美	和歌山L.C.C
	村田　匠	和歌山L.C.C	平久保安純	和歌山L.C.C
	今田　瑞基	福田南中学校	小林　奈央	就実中学校
	小田　佳史	湖東中学校	加瀬　祐佳	山王中学校
	大津　育人	鶴岡第一中学校	高野真里香	臼杵西中学校
	石塚　祐成	鶴岡第一中学校	佐々岡瑞甫	大宇陀中学校
	西　亮汰	都城市立西中学校	奈須ひかり	御坊中学校
	土井孝志朗	矢渕中学校	近藤めぐみ	山王中学校
	萩原　聖哉	矢渕中学校	檳尾　仁美	就実中学校
	榎　勇二	王寺中学校	竹武　美咲	高崎市立第一中学校
	佐久間英希	岡津中学校	坂東　尚美	高崎市立第一中学校
	深澤　俊祐	岳陽中学校	木村　友香	多治見中学校
	堀　貴裕	山鹿中学校	小泉友梨恵	千代田女学園中学校
	山田　浩生	鶴間中学校	与座摩璃亜	千代田女学園中学校
	金巻　翔希	武生第二中学校	新樹　美咲	鶴城中学校
	山本　祐輝	王寺中学校	横山　温香	横須賀中学校
	西森　一貴	王寺南中学校	鶴原　由稀	高知南中学校
	塩田　顕	善通寺市立東中学校	西岡　安奈	大宇陀中学校
	山口　晃輝	松戸市立第五中学校	下田　夢奈	宇土フレンドリー
	北谷健二郎	姫路ジュニアクラブ	若田実友子	宇土フレンドリー

日本連盟及び各都道府県ソフトテニス連盟管理ホームページで

「ソフトテニスTV」スタート！

昨年日本連盟のホームページでは、各大会および日本連盟情報の動画配信サービスを試験的に放送してまいりました。この度、クラブニッポンのご協力を得てこの動画配信サービスを、日本連盟のホームページだけではなく各都道府県ソフトテニス連盟管理のホームページにおいても実施できるようになりました。

時代に即した新たなソフトテニスの広報活動として「ソフトテニスTV」を、20年1月から準備ができた都道府県連盟からスタートしました。

日本連盟ソフトテニスTV、各都道府県ソフトテニスTVそれぞれ、最大4時間程度の動画を配信することが可能容量でスタートし、小・中・高・一般・シニア・レディース等幅広く様々な大会やソフトテニスのイベントを、ソフトテニスTVとして配信してまいります。ご期待下さい。

※ただし、それぞれの動画制作は、各都道府県ソフトテニス連盟の関係者による手作り映像です。皆で協力して各都道府県ソフトテニスTVを育てていただき、有効活用できるようご協力をお願いいたします。

※ソフトテニスTVは、「日本連盟ソフトテニスTV」・「47の各都道府県連盟ソフトテニスTV」・「日本学連ソフトテニスTV」とすべて開局した場合、49のソフトテニスTV（番組）となります。

平成20年度事業計画（平成20年4月～21年3月）

1. 会員登録制度の徹底を図る。
 (1)会員登録の促進
 (2)登録及び会員登録料納付手続きの効率化
 (3)傷害補償制度の徹底
 (4)会員報の発行
 (5)登録状況の把握
2. 競技力向上に関し、次の事業を実施する。
 (1)競技者育成プログラムの推進
 (2)ナショナルチームの強化合宿
 (3)全日本U－14. U－18. U－21の強化合宿
 (4)競技力向上のための海外遠征
 (5)強化スタッフの各種大会視察
 (6)競技力向上のための調査・研究
3. 指導者養成のために次の事業を実施する。
 (1)全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会
 (2)指導者養成事業の推進
 (3)指導者バンク(日本連盟)の推進
4. アンチ・ドーピングに関し、次の事業を行う。
 (1)アンチ・ドーピングに関する啓発活動
 (2)国内大会におけるドーピング検査の実施
5. 地域グループ育成のため、次の事業を実施する。
 (1)地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成
 (2)支部中学校大会への補助
 (3)支部レディース大会への補助
 (4)ソフトテニス週間の実施
 (5)指導者バンク(地域)の推進
 (6)総合型地域スポーツクラブの研究
6. 国内競技会を大会実施要項に基づき、別表のとおり実施する。
 (1)平成20年度大会日程および会場
7. 大会の検討と大会運営の改善
 (1)全日本選手権大会の検討
 (2)全日本団体選手権大会の検討
 (3)主催大会開催地への支援
 (4)ゼッケンの着用
 (5)スコアボードの検討
 (6)主催大会における大会運営マニュアルの作成と役割分担の明確化を図る。
 (7)スポーツ活動を通して環境保全を図る。
8. 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行う。
 (1)9地区選手権大会
 (2)地区高校選抜大会
 (3)10地区中学選手権大会
 (4)壮年東西対抗大会
 (5)超壮年東西対抗大会
 (6)全日本学生同好会大会
9. 公認審判員制度に関し、次の事業を実施する。
 (1)マスターレフェリーの認定(50歳以上)
 (2)マスターアンパイヤーの認定(50歳以上)
 (3)1級審判員の検定会･研修会の実施
 (4)1級審判員の認定(新規、更新)
 (5)2級審判員の認定(新規、更新、ジュニア審判からの移行)
 (6)ジュニア審判員の認定(小学生と中学生を対象とする)
 (7)主要大会における派遣審判員制度の実施
 (8)審判DVDの活用
 (9)審判員バンクの整備
10. 技術等級に関し、次の事業を実施する。
 (1)名誉指導員およびマスターの認定
 (2)技術等級の認定(大会実績、検定会)
11. 用具・施設の公認に関し、次の事業を行う
 (1)ラケットの証紙、ネットの証布の発行
 (2)新規公認・更新手続きの承認
12. 広報に関し、次の事業を行う。
 (1)新聞報道の充実
 (2)全日本選手権大会のNHKテレビ放送の継続
 (3)機関誌「ソフトテニス」の毎月発行
 (4)ITシステムの活用とホームページの充実
 (5)大会記録集の発行
 (6)ソフトテニスの歌の活用
 (7)その他の広報活動
13. 各種表彰を次のとおり行う。
 (1)国内関係表彰
 (2)国際大会入賞
14. 国際競技大会の参加種目への招致活動及び大会運営について支援する。
 (1)第5回東アジア競技大会(香港)の参加種目への招致活動を展開
 (2)第16回アジア競技大会(広州)の運営を支援
15. 国際競技大会への代表選手団を、次のとおり派遣する。
 (1)第6回アジア選手権大会(韓国・聞慶市)
 (2)競技力向上を図るため各種国際競技大会へ積極的に代表選手団を派遣する。
16. 国際普及活動を推進する。
 (1)75カ国(地域)への普及を目標に活動を促進
 (2)普及対象国への指導、支援
 (3)ジュニア、シニア等の交流促進
 (4)用具の提供、流通の促進
 (5)世界ジュニア選手権大会の検討
17. 国際指導体制を充実する。
 (1)指導員の確保、派遣制度等の充実
 (2)国際指導者バンクの創設
 (3)普及指導用諸教材の作成提供
18. 国際組織の活動を支援する。
 (1)ISTF
 (2)ASTF
 (3)その他のソフトテニス組織(地域、国)
 (4)各国の協力体制、財政基盤の確立、組織運営について検討する。
19. オリンピック参加に向けての環境づくりと参加実現性の検証を行う。
 (1)現状の調査、分析、対応策の検討
 (2)国際関係組織とのコミュニケーション促進
 (3)国際PR活動
 (4)諸総合大会への参加、諸団体への加盟など推進
20. 諸規程の条文整備。
21. 新公益法人制度への対応を図る。
22. 組織と財政の強化を図る。
23. 長期基本計画2007に基づく課題の検討と対策の推進を図る。

一般会計収支予算

（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）

単位：千円

科目	予算額
Ⅰ 事業活動収支の部	
1．事業活動収入	
(1)基本財産運用収入	1,000
1.基本財産運用収入	1,000
(2)会費収入	285,700
1.支部分担金	7,500
2.会員登録料	246,000
3.維持会費	32,200
(3)事業収入	172,084
1.大会参加料	23,784
2.出版物収入	19,700
3.用具検定費	29,000
4.公認審判収入	78,200
5.技術等級認定料	12,000
6.機関誌関係費	9,400
(4)補助金等収入	300
1.補助金収入	300
(5)協賛金寄付金収入	13,050
1.協賛金	12,750
2.寄付金	300
(6)雑収入	3,020
1.受取利息収入	20
2.広告料	1,500
3.雑収入	1,500
(7)他会計からの繰入金収入	485
1.募金会計	485
事業活動収入計	475,639
2．事業活動支出	
(1)事業費支出	202,054
1.指導要領等作成費	1,000
2.審判検定会・研修会	1,700
3.地域グループ育成費	55,010
4.大会開催地関係費	47,632
5.地域大会補助費	4,300
6.大会役員関係費	4,500
7.その他大会関係費	1,000
8.公認審判関係費	43,300
9.技術等級関係費	7,500
10.用具施設証作成費	1,300
11.広報活動費	24,912
12.表彰費	9,900
(2)管理費支出	135,410
1.人件費	42,760
2.会議費	14,500
3.会員登録関係費	31,500
4.ＩＴ関係費	13,000
5.一般管理費	25,800
6.運営費補助	7,850
(3)加盟費支出	930
1.加盟費	930
(4)他会計への繰入金支出	153,751
1.助成事業特別会計	149,467
2.国際特別会計	2,586
3.傷害補償制度特別会計	1,698
事業活動支出計	492,145
事業活動収支差額	△ 16,506
Ⅱ 投資活動収支の部	
1．投資活動収入	
投資活動収入計	0
2．投資活動支出	
(1)他会計への繰入金支出	1,500
1.職員退職積立金会計	1,500
投資活動支出計	1,500
投資活動収支差額	△ 1,500
Ⅲ 財務活動収支の部	
1．財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2．財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ 予備費支出	16,994
当期収支差額	△ 35,000
前期繰越収支差額	35,000
次期繰越収支差額	0

募金会計収支予算

（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）

単位：千円

科目	予算額
Ⅰ 事業活動収支の部	
1．事業活動収入	
(1)協賛金寄付金収入	500
1.免税募金	500
事業活動収入計	500
2．事業活動支出	
(1)事業費支出	15
1.免税手数料	15
(2)他会計への繰入金支出	485
1.一般会計	485
事業活動支出計	500
事業活動収支差額	0
Ⅱ 投資活動収支の部	
1．投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2．投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
Ⅲ 財務活動収支の部	
1．財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2．財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ 予備費支出	
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	0

助成事業特別会計収支予算
（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）

単位：千円

科目	予算額
Ⅰ 事業活動収支の部	
1．事業活動収入	
(1)事業収入	3,588
1.大会参加料	3,588
(2)補助金等収入	13,565
1.補助金収入	13,565
(3)協賛金寄付金収入	6,500
1.協賛金	6,500
(4)雑収入	129
1.受取利息収入	3
2.広告料	126
(5)他会計からの繰入金収入	149,467
1.一般会計	149,467
事業活動収入計	173,249
2．事業活動支出	
(1)事業費支出	173,249
1.競技力向上費	152,910
2.指導者育成事業費	10,705
3.大会開催等関係費	9,634
事業活動支出計	173,249
事業活動収支差額	0
Ⅱ 投資活動収支の部	
1．投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2．投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
Ⅲ 財務活動収支の部	
1．財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2．財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ 予備費支出	
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	0

国際特別会計収支予算
（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）

単位：千円

科目	予算額
Ⅰ 事業活動収支の部	
1．事業活動収入	
(1)協賛金寄付金収入	6,000
1.協賛金	6,000
(2)雑収入	1
1.受取利息収入	1
(3)他会計からの繰入金収入	2,586
1.一般会計	2,586
事業活動収入計	8,587
2．事業活動支出	
(1)事業費支出	37,300
1.会議費	800
2.視察費	400
3.親善大会費	1,100
4.普及指導費	21,000
5.普及指導教材費	5,000
6.用具費	2,500
7.大会振興補助費	1,500
8.活動促進費	4,000
9.国際大会派遣費	1,000
(2)管理費支出	300
1.一般管理費	300
事業活動支出計	37,600
事業活動収支差額	△ 29,013
Ⅱ 投資活動収支の部	
1．投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2．投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
Ⅲ 財務活動収支の部	
1．財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2．財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ 予備費支出	
当期収支差額	△ 29,013
前期繰越収支差額	29,013
次期繰越収支差額	0

傷害補償制度特別会計収支予算
（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）

単位：千円

科目	予算額
Ⅰ 事業活動収支の部	
1．事業活動収入	
(1)雑収入	1
1.受取利息収入	1
(2)他会計からの繰入金収入	1,698
1.一般会計	1,698
事業活動収入計	1,699
2．事業活動支出	
(1)事業費支出	2,500
1.傷害補償金	2,500
(2)管理費支出	150
1.一般管理費	150
事業活動支出計	2,650
事業活動収支差額	△ 951
Ⅱ 投資活動収支の部	
1．投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2．投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	0
Ⅲ 財務活動収支の部	
1．財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2．財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ 予備費支出	
当期収支差額	△ 951
前期繰越収支差額	951
次期繰越収支差額	0

職員退職積立金会計収支予算
（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）

単位：千円

科目	予算額
Ⅰ 事業活動収支の部	
1．事業活動収入	
(1)雑収入	1
1.受取利息収入	1
事業活動収入計	1
2．事業活動支出	0
事業活動支出計	0
事業活動収支差額	1
Ⅱ 投資活動収支の部	
1．投資活動収入	
(1)他会計からの繰入金収入	1,500
1.一般会計	1,500
投資活動収入計	1,500
2．投資活動支出	0
投資活動支出計	0
投資活動収支差額	1,500
Ⅲ 財務活動収支の部	
1．財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2．財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ 予備費支出	
当期収支差額	1,501
前期繰越収支差額	13,969
次期繰越収支差額	15,470

お部屋探しの強い味方!
miniMini
http://minimini.jp

平成20年度　大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日程	21年度
主催大会	アジア大会日本代表予選会	熊本県・熊本市	5月 3日(土) ～ 5日(祝)	
	全日本シングルス選手権大会	新潟県・新潟市	5月17日(土) ・ 18日(日)	関東
	全日本実業団選手権大会	新潟県・新潟市他	7月25日(金) ～ 27日(日)	白子町
	全日本小学生選手権大会	熊本県・熊本市	8月 7日(木) ～ 10日(日)	岐阜県
	全日本社会人選手権大会	京都府・福知山市他	9月 6日(土) ・ 7日(日)	岡山県
	JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島県・広島市	9月 6日(土) ・ 7日(日)	広島市
	全日本シニア選手権大会	岡山県・岡山市他	10月10日(金) ～ 12日(日)	北海道・東北
	天皇賜杯・皇后賜杯・全日本選手権大会	青森県・青森市	10月17日(金) ～ 19日(日)	近畿
	日本実業団リーグ	京都府・福知山市	10月31日(金) ～ 11月 2日(日)	福知山市
	全日本クラブ選手権大会	千葉県・白子町	11月 1日(土) ・ 2日(日)	白子町
	日本リーグ	広島県・広島市	11月13日(木) ～ 16日(日)	広島市
	全日本インドア選手権大会	大阪府・大阪市	21年 2月初旬(日)	大阪市
	日本リーグ入替戦	愛知県・名古屋市	21年 2月14日(土) ・ 15日(日)	名古屋市
拠点事業スポーツ	ジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム(Step4)」	宮崎県・宮崎市	11月22日(土) ～ 25日(火)	宮崎市
	都道府県対抗全日本中学生大会	三重県・伊勢市	21年 3月26日(木) ～ 28日(土)	伊勢市
	全国小学生大会	千葉県・白子町	21年 3月29日(日) ～ 31日(火)	白子町
共催大会	ハイスクールジャパンカップ	北海道・札幌市	6月20日(金) ～ 22日(日)	札幌市
	西日本シニア選手権大会	愛媛県・松山市	7月 5日(土) ・ 6日(日)	九州
	東日本選手権大会	宮城県・仙台市	7月19日(土) ・ 20日(日)	埼玉県
	西日本選手権大会	香川県・高松市	7月19日(土) ・ 20日(日)	九州
	全日本高校選手権大会	埼玉県・川口市	7月28日(月) ～ 8月 4日(月)	明日香村
	全日本学生選手権大会	三重県・四日市市他	8月 7日(木) ～ 13日(水)	
	全日本レディース大会(個人戦)	静岡県・静岡市他	8月 5日(火) ～ 8月 7日(木)	大阪市
	全国中学校大会	富山県・高岡市	8月18日(月) ～ 20日(水)	宮崎市
	全日本レディース決勝大会(団体戦)	千葉県・白子町	8月29日(金) ～ 31日(日)	千葉市
	日本スポーツマスターズ	高知県・高知市	9月20日(土) ～ 22日(月)	静岡県
	第63回国民体育大会	大分県・大分市	9月27日(土) ～ 10月 1日(水)	新潟県
	スポーツ・レクリエーション祭	滋賀県・彦根市	10月18日(土) ～ 21日(火)	宮崎県
	全日本高校選抜大会	愛知県・名古屋市	21年 3月29日(日) ・ 30日(月)	名古屋市
国際	日・韓・中ジュニア交流競技大会	千葉県・千葉市	8月23日(土) ～ 29日(金)	韓国
	アジア選手権大会	韓国・聞慶市	10月31日(金) ～ 11月 6日(木)	
その他	ねんりんピック	鹿児島県・鹿児島市	10月25日(土) ～ 27日(月)	岩見沢市